

情報・システム研究機構経営協議会（令和3年度第2回）議事要旨

日 時：令和3年7月14日（水）～令和3年7月19日（月）

形 式：メール審議

送付先：安宅和人委員、○五十嵐道子委員、○小山内康人委員、○國井秀子委員、○佐々木裕之委員、○須江雅彦委員、○津田敦委員、徳田秀幸委員、○藤井良一委員（議長）、○津田敏隆委員、○喜連川優委員、○椿広計委員、○渡邊和良委員、○中村卓司委員、○花岡文雄委員
（○は回答があった委員）

議 事：

【審議事項】

（1）第4期中期目標・中期計画（素案）及び評価指標に関する調書

資料1及び資料2-1～2-3に基づき各委員に意見照会したところ、表決数以上の可決意見を得たため、了承された。なお、審議事項に対する意見及び対応案は以下のとおりである。

<意見概要>

●「評価指標に関する調書」について、「評価指標の設定理由」において今期の状況を述べることなく「検証可能な評価指標」（特に数値）が設定されているケースが多々見られる。数値の妥当性が判断できない「設定理由」で良いのか検討すべきである。例えば、「前期比○%増を目指す」の場合でも、前期が満足すべき数字だったのかどうかにより判断は別れる。逆に、高い数値を設定する必要はない場合もある。

⇒第4期中期目標・中期計画検討WGを開催し、指標において「前期比」としたものについては、第3期（4年目終了時点）の数値等を根拠として妥当性が説明できる記載にするよう、また各研究所等の記載を統一するように努めました。また、第3期の実績が高水準であった場合、その理由を付した上で前期と同水準を維持する、との記載に修正いたしました。

●「検証可能な評価指標」について、特にG13（P41）以降、どのように検証するのか明らかでないものも多く見られるため、十分吟味し、必要に応じて修正されたい。また、設定した数値目標と設定理由の一部に齟齬があるように見受けられる（P45(2)、P47(2)など）ため、十分確認されたい。

⇒第4期中期目標・中期計画検討WGにおいて、G13以降の評価指標の見直しを行い、検証可能な指標となるよう記載内容の改訂に努めました。P45(2)及びP47(2)など「④検証可能な評価指標」と「⑤評価指標の設定理由」での齟齬についても見直し修正を行いました。

以上

《配付資料》

【資料 1】 書面審議のポイント

【資料 2-1】 第 4 期中期目標・中期計画（素案）

【資料 2-2】 評価指標に関する調書

【資料 2-3】 【第 4 期中期目標大綱】 変更箇所一覧表（案）